

広義の文化性

金を持つと気がでかくなり、暴走する。人間の醜態が生まれる。自己の主要な産出と活動の習慣性から外れた分野への安直な介入と粗末な表現を起こし、食い散らかしの生の破綻性を招く。確立された自分野を構成する意識と態度が希薄化し、力任せに外界に侵攻し生の荒れた病理性を生む。

お笑い芸人が、妙に政治の話題を取り上げ、強く影響力を広げる情報技術を用い、表現を作る姿は、あまりにお粗末な未熟性や自律性の欠落した幼児の心象が進む。妙な露出狂と知名度を向上し、勢力拡大を求める破壊性に伝わる。分不相応な所得を入手し、自己不在の破綻性を表す。こうした歪性に資金を提供する事業体の性格に問題性の認識が集まり、何をして財を得たか、入手の方法に思慮が投げられる。財の得方が使い方に反映される。略奪性によれば、力の活用も、歪な動機と手段に流れ財を集める性格を広げる。

粗末な生の連鎖性と拡大の基調について適正観を問い標準性を引き出し、あまりに崩れた病理性を予防する基準と運用の秩序と仕組みが求められる。人形が度を越えた制御不能の表現や態度を招く事は許容されない。人形扱いされたくなければ、事前的に基準性を明示する事が最低限に必須となる。影響に相応しい態度を欠く姿は醜態感を増す。偏差値が高いからよいだろうでは通用しない。成熟した大人の感覚とは離れた子供の感覚。鮮明な基準性を整え明示する過程が要る。

影響力に相応する責務性の著しく書いた表現は、権利性と義務性の不均衡を拡大させる。粗末な生命と人間を感じ取る現象と類型性が整理される。犯罪とは何か、あつてはならぬ事、の精査した基準と体系観が整備される。

なぜ、歪性が生まれるか、成長過程の見識を引き出す創造性が深められる。結果と過程の因果をもって、過去の現象の調査性が起こると共に、あるべき概念性を集約し、静態と動態を合わせて標準観を導出する産出性に至る。

過程性

結果性

体系と周期と持続

金を得て自己の本分を忘れて、制御性の狂った病理を作るようでは、過剰な資産性を削減させて、正気と正常性に回復させる作爲が進む。動静の適正を作る自然性の因果が滞りなく作用し、変わらぬ生の良好性と健康性を存続する秩序性が回る。狂った自由性の制御が図られる。生命人間の一般原理性の見解に落ち着く。

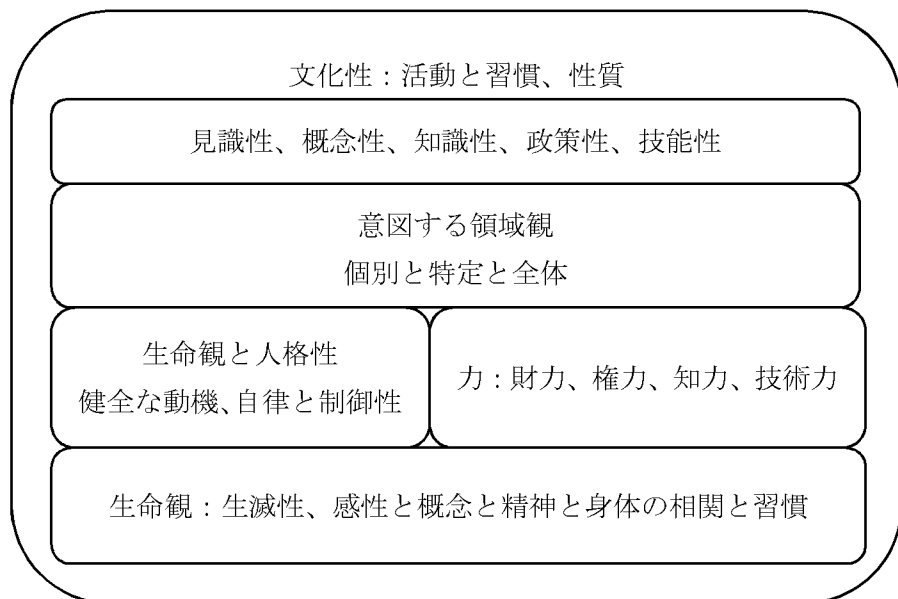
馬鹿が金を持つと、使い方に適正が狂い、負の因果性を直接間接に作る。根本性の狂った二次三次の歪性を広げ深めることの対応が滞りなく出現し、不動性を保つ動態性が作動し、動静の適正を遂げる。不動と変動の相関として普遍的不変の真理性に定まる。

力：財力、権力、知力、技術力、人格性：自律と制御、
哲学と科学と技術の文化性、体系と習慣と持続性、
領域の健全性と持続性、生命と領域性、

知識も力の一要素になり、知識を悪用するのでは、過剰な力を与えたことの指導性や主導性、政治性、教育性に適正を欠く。生命観と人格性なる観点が起こり、健全な力と運用を図ることの出来る質実性を測定し、実際性と検証性を含めて、生の適正を作る工程が生まれる。金さえ貰えれば、馬鹿にでも何でも、力を与えるという拝金主義は、生の根本性と基礎性の狂いを生じさせる。影響に相応する責務性の欠落は、破壊と利己性を拡大さ

せる。この性質が領域の中枢に納まると、歪性の連鎖性に箍の利かない全体の性格を作る。モラル性の破綻した社会と自然と生態を招く。

製造と販売が分断し、歪な流通性による財の獲得を競う歪性に箍が効かず、生の根本性の狂った生態性を拡大させる。利己性の激しい社会性と人間性を失った虫けら気質の病理質を生む。やったもの勝ち、勝てば官軍、騙される者が悪い、生の破綻した慢性的な病理の秩序を生む。後先を考慮することなく、短期的な効果と財を求める歪性を生む。生命観の壊れた経済観や政治観、教育観と運用の姿が表面化する。この性格に長らくの信用は生まれない。一過性の利益追求と略奪性の質実を招く。「見識性、概念性、知識性、政策性、技能性、」という観点と相関を生む。根本且つ全体大局観の導出と個別特定現象の性格や配置を与える創造の大系観が整備される。生命人間像、生の良好な成長過程、結果性と過程性、静態性と動態性、性質と構造と局所現象、長期中期短期の因果と相関、



このような純粹原理性と標準觀を前段性に示して、現況性に対面し最良性を作る創造法則性が作動する。純粹原理性の見解を省き、制御性の利かない動態性は、過剰性と異常性を齎せる。広義の文化性という觀念と運用をもって、健全な生が作動する。見識や概念の形成上に適正が有り、動態性を作る動静の習慣に、不動的な生命と領域性が現れる。

